

音声認識システム（UDトーク）の効果検証について

令和3年第4回定例会から試験導入した音声認識システム（UDトーク）の効果検証について、下記のとおり報告する。

1 反訳精度に関する検証

検証対象：令和3年第4回定例会の音声データから一部をサンプル抽出

検証内容：誤変換回数、正確に反訳された割合（文字数）

検証結果

①1分あたり（300文字）の誤変換回数 約1.5回

②正確に反訳された割合（正確な変換文字数/総文字数）約99%

※①のAIによる誤変換に加え、話し手の読み間違いや滑舌などにより文字が正しく変換されない読み間違い等も1分あたり1回程度確認された。

※個人差があるものの、話す速度や長時間にわたる発言などが読み間違い等に影響していると考えられる。

2 傍聴者へのアンケート結果

調査方法：令和3年第4回定例会の傍聴者にアンケート調査（紙）を実施

調査結果（概要）

設問	回答数	結果
モニター画面の明るさ	43	84%の方がちょうどよいと回答
文字の大きさ、速さ	44	82%の方がちょうどよいと回答
モニターの設置場所	40	68%の方が適切と回答
会議内容の理解に役立つか	40	93%の方が役立つと回答
今後必要か	41	98%の方が今後必要と回答

3 考察

- ・UDトークについて、概ね肯定的な回答が多数を占めていることがわかった。
- ・今後は、反訳精度のさらなる向上、モニターの設置場所等について検討していく。